

全世界のCO₂を0.1%減らせます。

0.1%に根拠はある訳ではありません。

4年間に約6000本のタイヤを調査して編出した方法だから
これ位は間違いなく減らせず自信があるからです。



オカダ式空気圧調整法

- ☆ 指定空気圧を平均気温基準する。
- ☆ 走行中適正空気圧
- ☆ だれでも自由に無料で使用できる。

タイヤの空気圧の点検・調整方法をオカダ式にすれば、

全世界の自動車約8億台の燃費を良く出来ます。

タイヤの本来持っている性能を引出す。

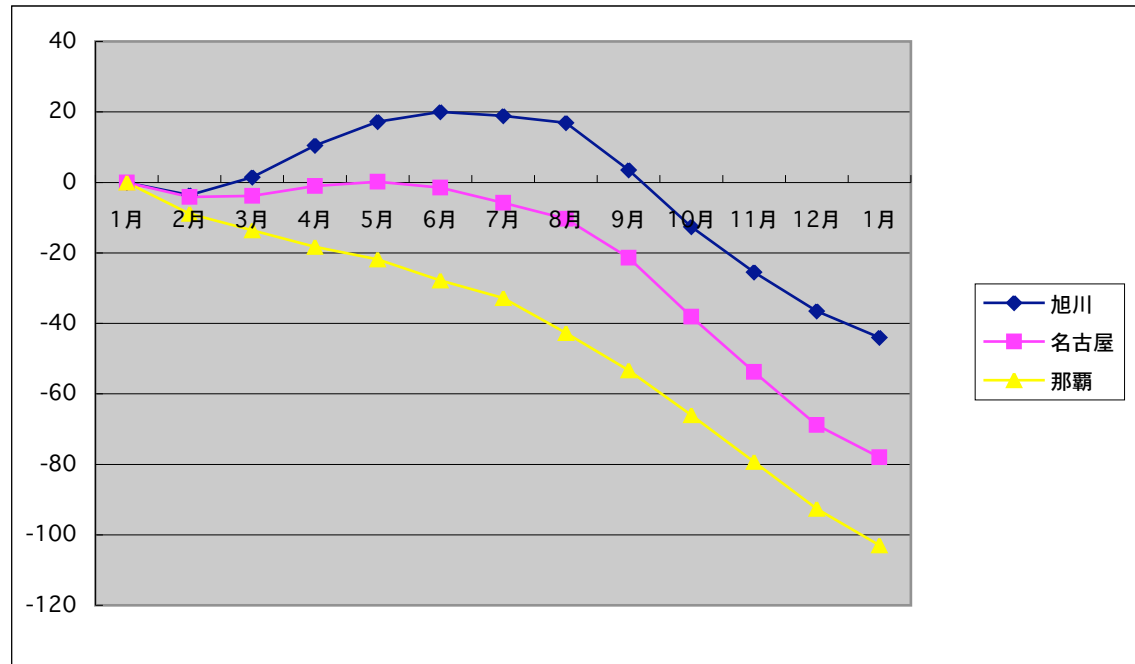
タイヤの空気圧は予測出来る。

地域の気候で空気圧の変化は違う。

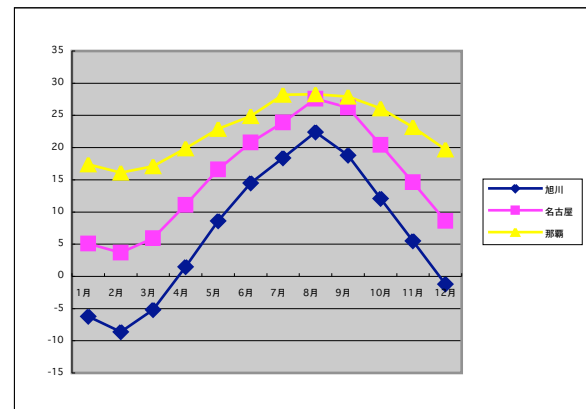
タイヤの空気圧 月別1年間の変化

	旭川	名古屋	那覇
1月	0	0	0
2月	-3.6	-4.1	-8.9
3月	1.5	-3.8	-13.6
4月	10.5	-1.0	-18.3
5月	17.2	0.2	-21.8
6月	20.0	-1.5	-27.8
7月	18.9	-5.8	-32.8
8月	16.9	-10.3	-42.7
9月	3.5	-21.4	-53.3
10月	-12.6	-38.1	-66.0
11月	-25.5	-53.8	-79.3
12月	-36.5	-68.8	-92.6
1月	-44.0	-78.0	-103.0

タイヤの空気圧 月別年間変化（普通の空気）



月別気温変化



タイヤの空気圧の変化は気温の影響を受ける。

名古屋の場合

	気温	気温差	気温影響	自然漏れ	空気圧
1月	5.1	-1.4	-2.1	-2	-4.1
2月	3.7	2.2	3.3	-3	0.3
3月	5.9	5.2	7.8	-5	2.8
4月	11.1	5.5	8.2	-7	1.2
5月	16.6	4.2	6.3	-8	-1.7
6月	20.8	3.1	4.7	-9	-4.3
7月	23.9	3.7	5.5	-10	-4.5
8月	27.6	-1.4	-2.1	-9	-11.1
9月	26.2	-5.8	-8.7	-8	-16.7
10月	20.4	-5.8	-8.7	-7	-15.7
11月	14.6	-6.0	-9.0	-6	-15.0
12月	8.6	-3.5	-5.2	-4	-9.2

オカダ式空気圧調整法

1ヶ月先の平均気温時に指定空気圧になるように調整（普通の空気の場合）

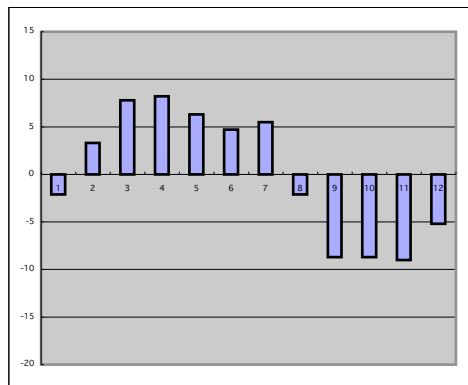
（現在の気温-1ヶ月先の平均気温）×1.5=気温の影響 自然漏れ：早見表から
 気温の影響+自然漏れ+指定空気圧=調整空気圧（冷間時）

平均気温を調べる方法

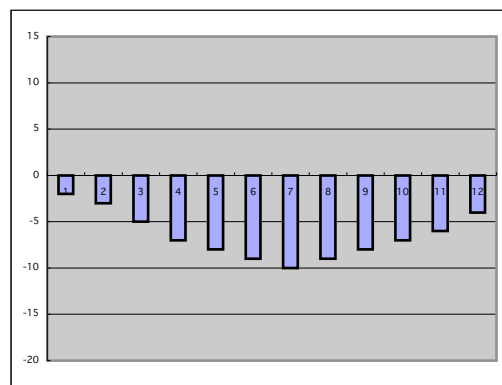
気象庁の過去の気象データ検索

<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

気温の影響



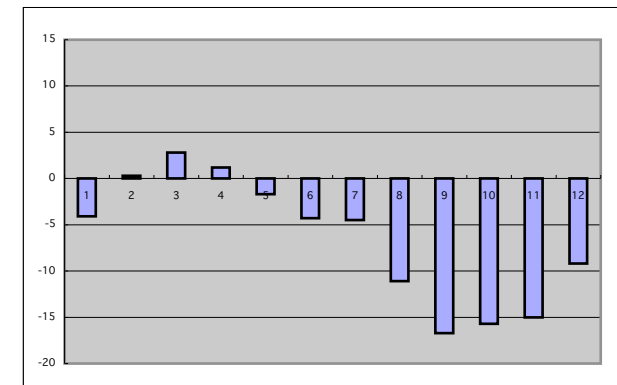
自然漏れ



+

=

空気圧変化

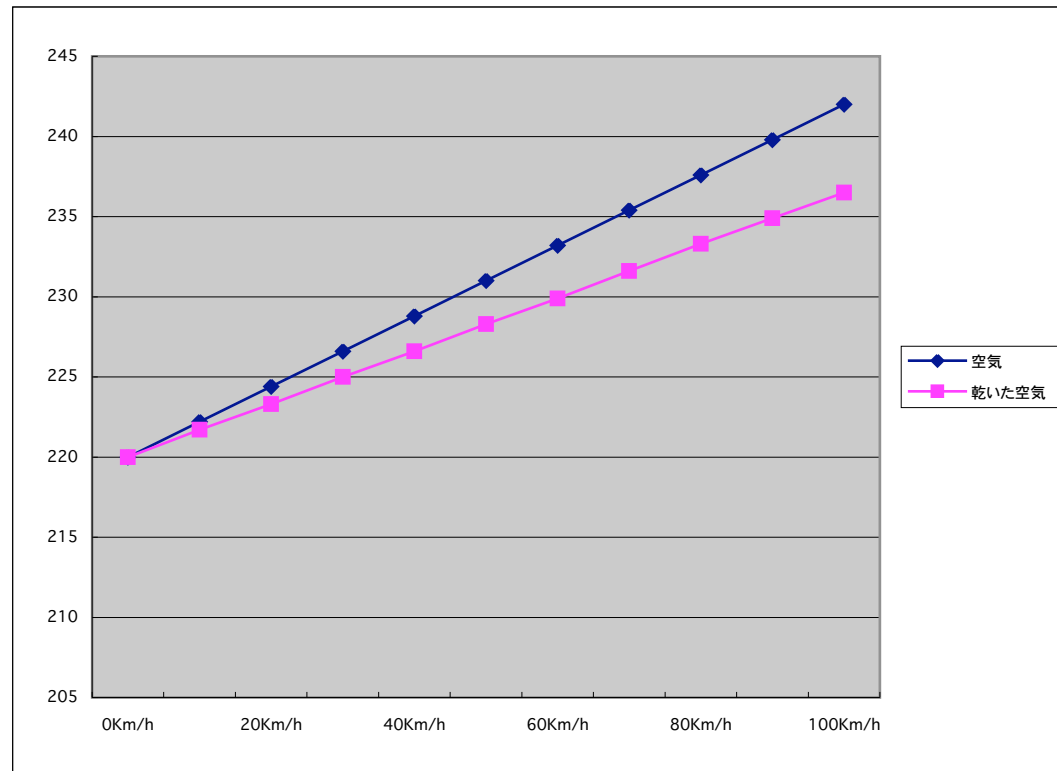


空気圧は走行直後でも正確に合わせる事が出来る。

速度と空気圧

	空気	乾いた空気
0Km/h	220.0	220.0
10Km/h	222.2	221.7
20Km/h	224.4	223.3
30Km/h	226.6	225.0
40Km/h	228.8	226.6
50Km/h	231.0	228.3
60Km/h	233.2	229.9
70Km/h	235.4	231.6
80Km/h	237.6	233.3
90Km/h	239.8	234.9
100Km/h	242.0	236.5

タイヤの空気圧は走行速度に比例する。



一般的な空気の場合、

$$\text{指定空気圧} (1 + \text{走行速度} / 1000) = \text{走行後空気圧}$$

乾いた空気 (エアードライヤー)

$$\text{指定空気圧} (1 + \text{走行速度} / 1000 \times 0.75) = \text{走行後空気圧}$$

$$\text{調整空気圧 (冷間時)} + \text{指定空気圧? (走行速度} / 1000) = \text{走行直後の空気圧}$$